

4. 共生藻種類の検討

(1) 別種シャコガイ初期仔貝との共生試験1 (大型水槽飼育)

大型水槽を用いたヒレジャコ初期仔貝またはヒメジャコ初期仔貝に対する、それぞれのシャコガイ由来の共生藻の投与試験(1)の結果を表18に示した。共生個体の生残率を共生率とした。全試験区において別種シャコガイとの共生が確認された。試験区1、試験区2、試験区4では対照区と同種の共生藻に比較して共生率は低かったが、試験区3のヒレジャコ共生藻とヒメジャコ仔貝との共生率は同種共生藻の共生率を上回った。

表18 別種シャコガイ初期仔貝との共生試験1 (大型水槽)の結果

試験区	仔貝種類	共生藻種類	飼育水槽	幼生収容数 (万個)	計数 日令	共生成立 個体数 (個体)	共生率 (%)
1	ヒレジャコ	ヒメジャコ	500ℓ ポリカーボネイト	2	33	1,100	5.5
		ヒレジャコ	500ℓ ポリカーボネイト	2		1,700	8.5
2	ヒメジャコ	ヒレジャコ	5 kℓ FRP	150	23	12,000	0.8
		ヒメジャコ	5 kℓ FRP 10 kℓ FRP	1,060		222,000	2.1
3	ヒメジャコ	ヒレジャコ	500ℓ ポリカーボネイト	2	44	950	4.8
		ヒメジャコ	500ℓ ポリカーボネイト	2		600	3.0
4	ヒメジャコ	ヒレジャコ	500ℓ ポリカーボネイト	15	30	1,000	0.7
		ヒメジャコ	500ℓ ポリカーボネイト	15		2,000	1.3

(2) 別種シャコガイ初期仔貝との共生試験2 (個別飼育)

組織培養プレートを用いた3種のシャコガイ初期仔貝に対する、それぞれのシャコガイまたはサンゴ由来の共生藻の投与試験(2)の結果を表19に示した。試験区1ではヒレジャコ仔貝に投与したヒメジャコ共生藻が24個体中1個体(共生率4.2%)共生成立した。共生率は低く、成立日令も遅かった。しかし、対照区である同種のヒレジャコ共生藻を投与した区は1個体も成立しなかった。これは試験に用いたヒレジャコ孵化幼生